

会 計 情 報

河 榮 徳 教授

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

研究領域は、会計ディスクロージャーの理論的および実証的研究である。理論的研究として、ディスクロージャーが情報の非対称性の低減に及ぼす影響を様々な分析モデル(たとえば、ノイズ付き合理的期待モデルなど)のもとで理論的に研究する。実証的研究としては、資本市場における会計ディスクロージャー情報の有用性の実証分析、会計ディスクロージャー情報にもとづく企業価値評価について研究する。たとえば、年次決算や中間決算情報あるいは連結決算情報が株価形成に及ぼす影響の実証分析、金融商品の時価評価情報の有用性に関する実証分析、キャッシュフロー情報の追加的な価値関連性に関する実証分析、アクルアル(accruals)による利益マネジメントの実証分析、経営者の会計選択行動に対する資本市場の評価、EBO モデルや EVA モデルによる企業価値の評価、などがあげられる。

2. 指導方針

この研究指導では、会計ディスクロージャー制度のもとで作成される会計情報を実証的に分析・研究することを目的とする。会計ディスクロージャー情報に関する基礎理論から最近の実証研究の動向までの文献研究を行ない、それを踏まえて、実際の会計データを用いた実証分析——研究デザイン、データ収集および分析方法、結果の解釈——について指導する。

3. 学生に対する要望・その他

会計学および財務論の基礎については、すでに学習していることが望ましい。また、会計ディスクロージャー情報を実証的に分析する際にコンピュータを利用するので、ある程度のコンピュータ・リテラシーは必要である。